

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針等の  
見直しの基本的考え方について

第7回線引き全市見直しの基本的考え方について

---

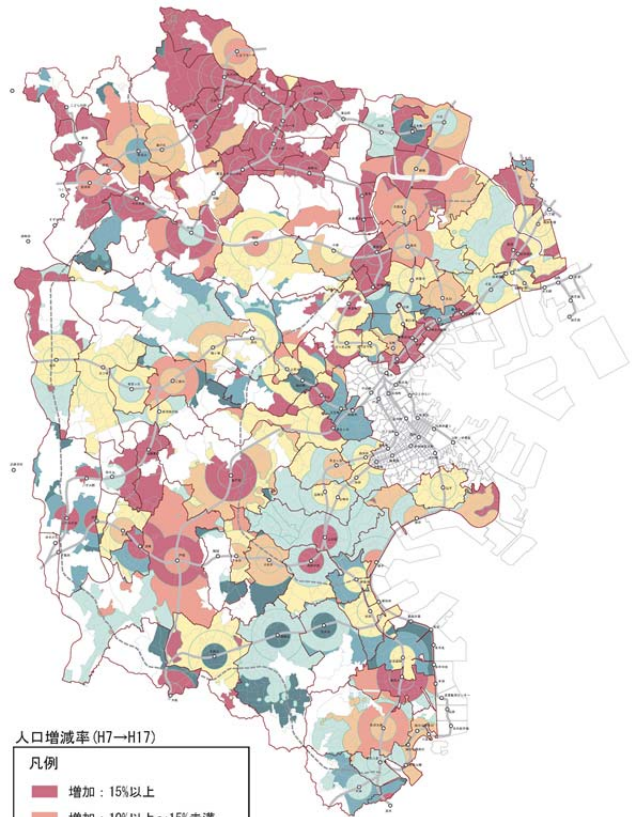
図表集

---



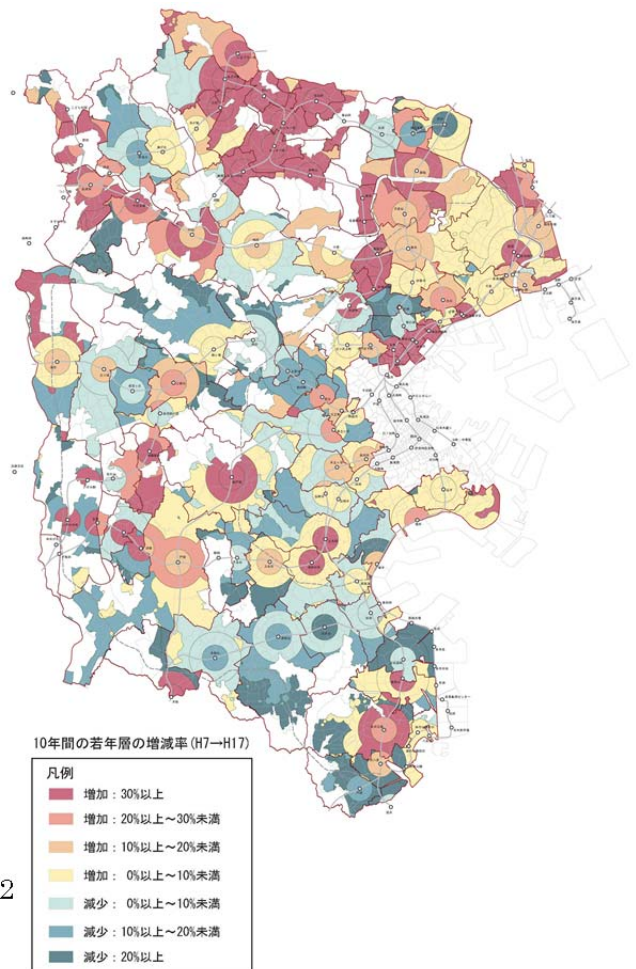


【人口増減率（平成7～17年）】



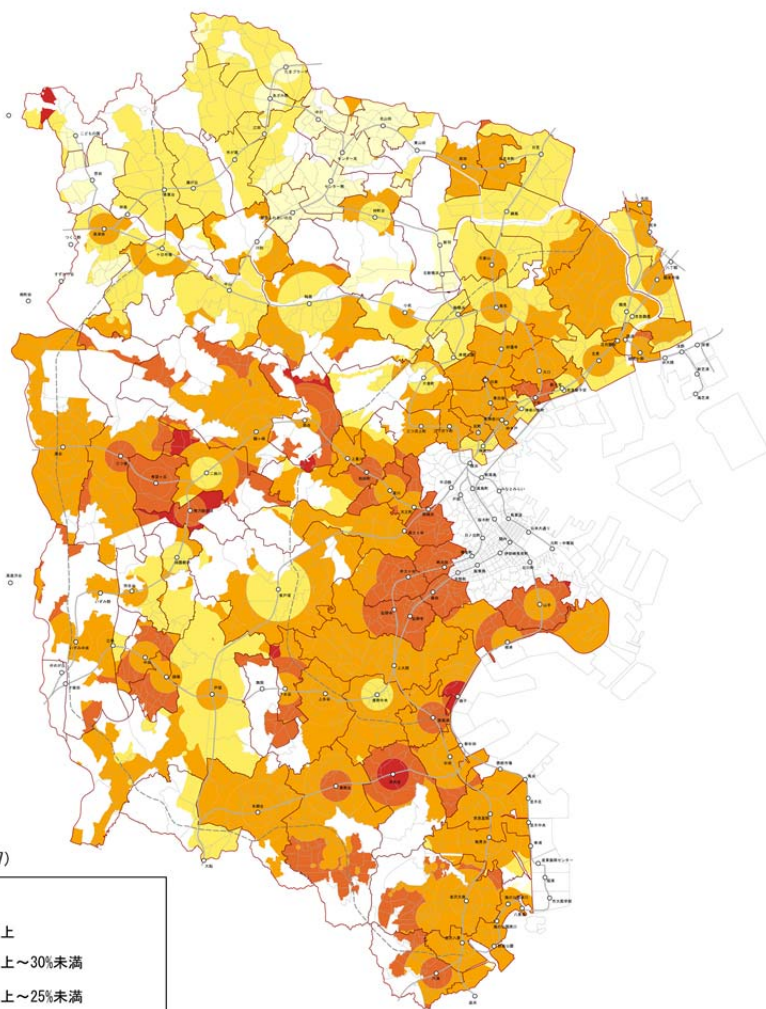
出典：人口減少等を踏まえた  
郊外部のまちづくり検討調査  
(2010(平成22)年3月)横浜市

【若年層人口増減率（平成7～17年）】



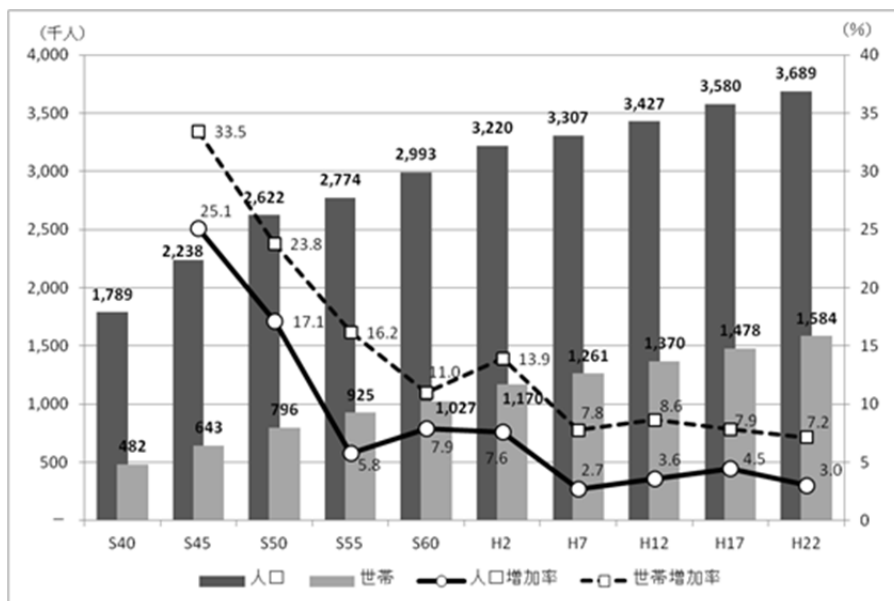
出典：人口減少等を踏まえた  
郊外部のまちづくり検討調査  
(2010(平成22)年3月)横浜市

### 【高齢化率（平成 17 年）】



出典：人口減少等を踏まえた  
郊外部のまちづくり検討調査  
(2010（平成 22）年 3 月）横浜市

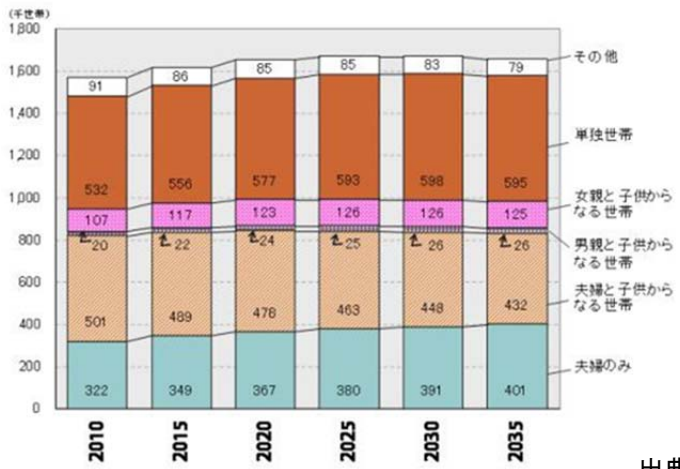
### 【人口・世帯数の推移】



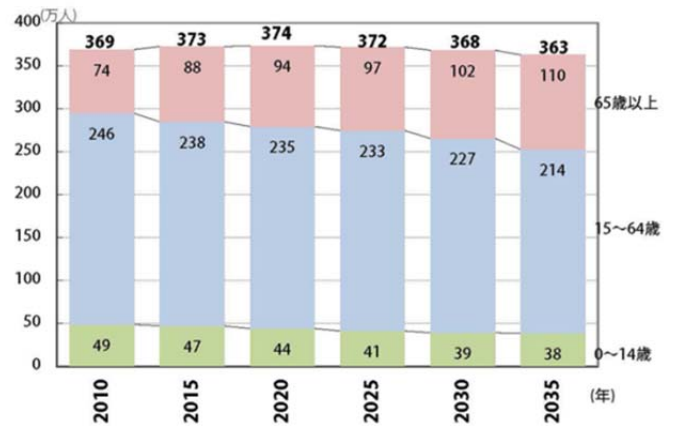
出典：国勢調査



【家族類型別世帯数の推計】



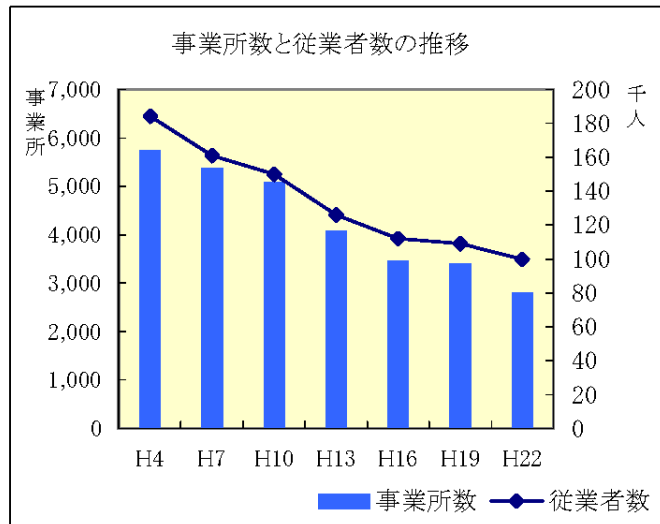
【将来人口の推計値 年齢3区分別】



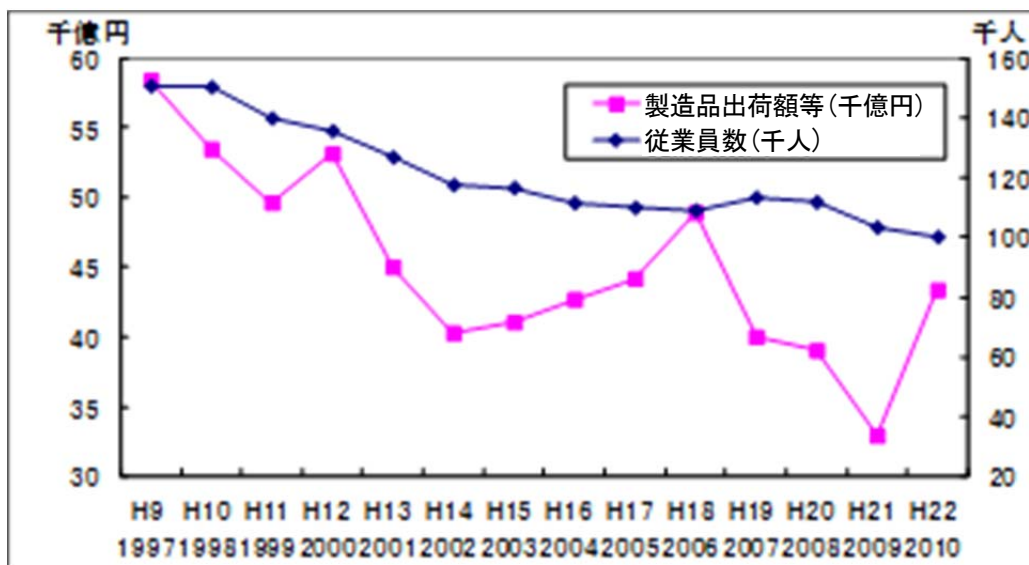
出典：横浜市政策局

② 産業の推移

【工業の推移】



出典：横浜経済の現状について



出典：工業統計調査

## 【世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング】

(単位：万TEU)

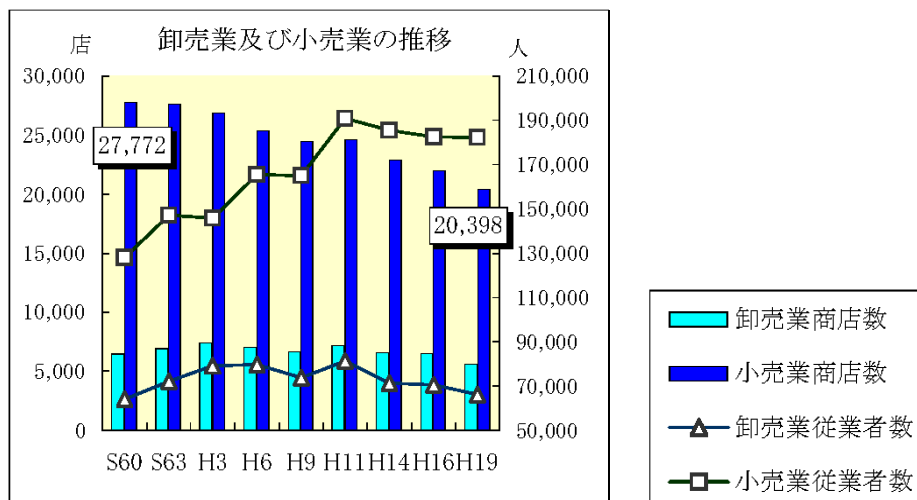
昭和55 (1980) 年			平成21 (2009) 年速報値		
順位	港湾名	取扱量	順位	港湾名	取扱量
1	ニューヨーク (米国)	195	1	上海 (中国)	3,150
2	ロッテルダム (オランダ)	190	2	シンガポール	2,994
3	香港	146	3	香港 (中国)	2,440
4	神戸	146	4	深圳 (中国)	2,257
5	高雄 (台湾)	98	5	釜山 (韓国)	1,618
6	シンガポール	92	6	寧波 (中国)	1,469
7	サンファン (プエルトリコ)	85	7	広州 (中国)	1,440
8	ロングビーチ (米国)	82	8	青島 (中国)	1,302
9	ハンブルグ (ドイツ)	78	9	ドバイ (アラブ首長国連邦)	1,300
10	オークランド (米国)	78	10	ロッテルダム (オランダ)	1,190
:	:	:	11	天津 (中国)	1,150
:	:	:	12	ポートケラン (マレーシア)	976
13	横浜	72	13	高雄 (台湾)	964
:	:	:	:	:	:
15	基隆 (台湾)	66	17	タンジュンペレバス (マレーシア)	750
16	釜山 (韓国)	63	18	廈門 (中国)	646
:	:	:	19	大連 (中国)	640
18	東京	63	:	:	:
:	:	:	22	タンジュンプリオク (インドネシア)	580
:	:	:	23	レムチャバン (タイ)	373
:	:	:	:	:	:
:	:	:	25	連雲 (中国)	485
:	:	:	26	ホーチミン (ベトナム)	467
:	:	:	27	東京	455
:	:	:	28	ジャワハラル (インド)	436
39	大阪	25	:	:	:
:	:	:	40	横浜	308
46	名古屋	21	:	:	:
:	:	:	47	名古屋	255
:	:	:	:	:	:
:	:	:	49	神戸	247

注1： TEUとは、20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ個数  
 注2： 出賃と入賃（輸移出入）を合計した値である  
 注3： 実入りコンテナと空コンテナを合計した値である  
 注4： トランシップ貨物を含む  
 注5： 日本の港については50位までを記載  
 出典： CONTAINERISATION YEARBOOK 1982  
 CONTAINERISATION INTERNATIONAL March 2012より国土交通省港湾局計画課作成

出典：国土交通省ホームページ

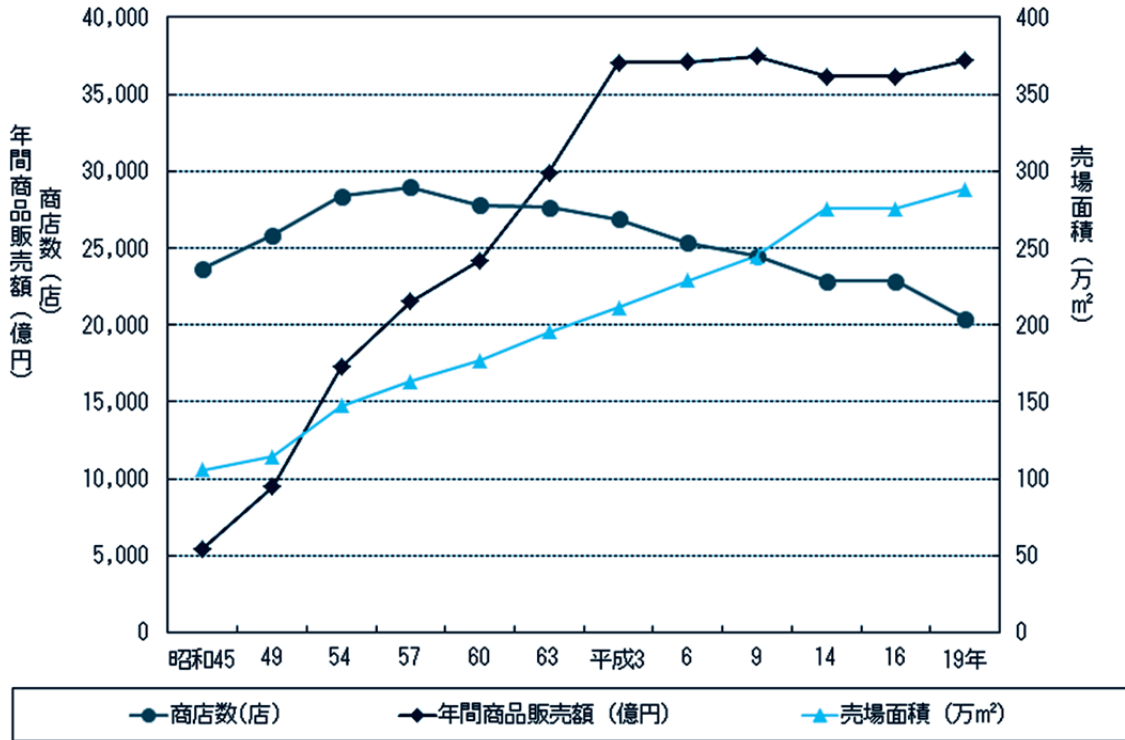
(関東地方整備局東京港湾事務所)

## 【商業の推移】



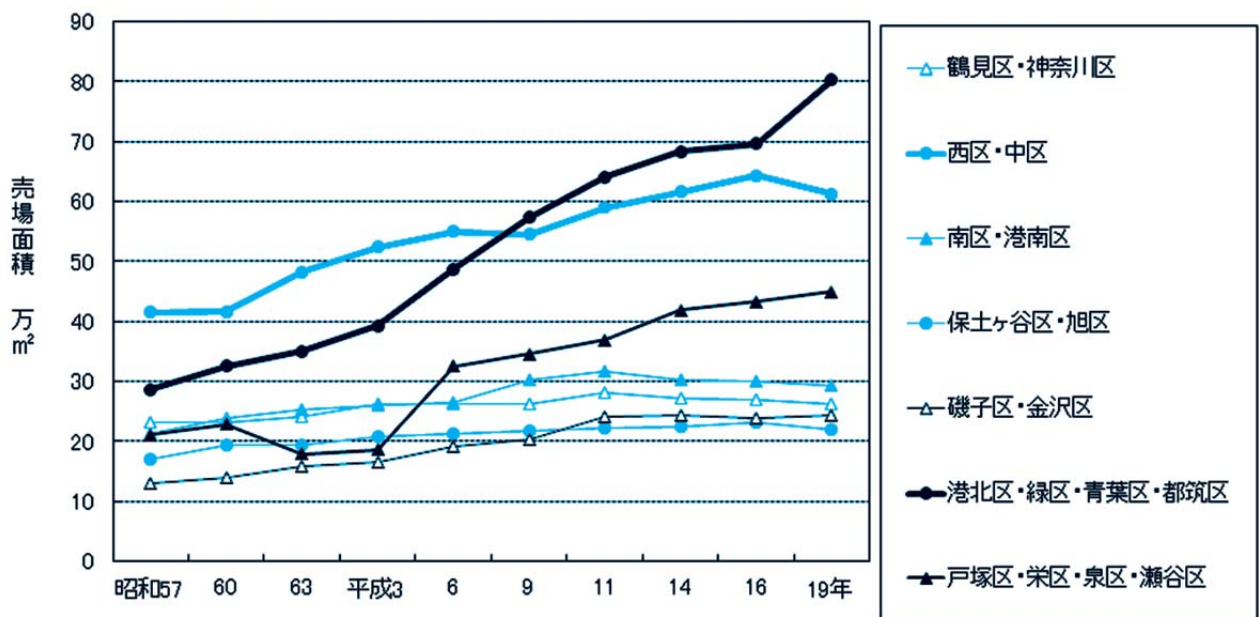
5 出典：横浜経済の現状について

【横浜市の小売業の推移】



出典：横浜市「横浜市史Ⅱ第三巻(上)」  
横浜市「横浜市の商業」

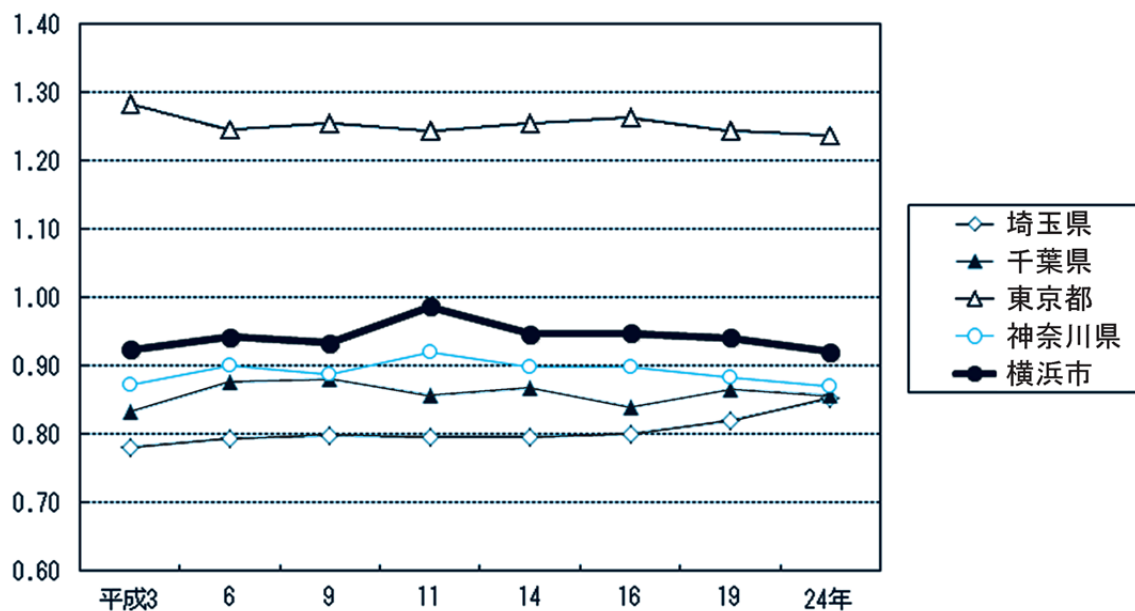
【横浜市の地域別小売業売場面積の推移】



出典：横浜市「横浜市の商業」



### 【横浜市及び1都3県のトンプソン指数の推移】



※トンプソン指数 = (当該都市の販売額 ÷ 当該都市の人口) ÷ (1都3県の販売額 ÷ 1都3県の人口)

出典：経済産業省「商業統計表」、総務省「平成24年経済センサス活動調査」「人口推計」

### 【横浜市の観光入込客数（延数）の推移】

	合計	観光施設等延数	宿泊施設延数	対前年増減/率	
平成16年	38,907,354	34,535,373	4,371,981	4,242,523	12.2%
平成17年	39,939,052	35,391,984	4,547,068	1,031,698	2.7%
平成18年	39,955,991	35,385,318	4,570,673	16,939	0.0%
平成19年	41,071,588	36,385,798	4,685,790	1,115,597	2.8%
平成20年	42,532,170	37,398,138	5,134,032	1,460,582	3.6%
平成21年	43,758,284	38,850,798	4,907,486	1,226,114	2.9%
平成22年	41,965,403	37,144,953	4,820,450	△ 1,792,881	△ 4.1%
平成23年	36,100,539	31,388,886	4,711,653	△ 5,864,864	△ 14.0%
平成24年	42,432,204	37,096,516	5,335,688	6,331,665	17.5%
平成25年	45,659,080	39,539,334	6,119,746	3,226,876	7.6%

出典：横浜市「横浜市観光動態・消費動向調査」

【横浜市の集客実人数（平成 25 年）】

区分	観光集客実人員		増減	増減率
	25年	24年		
宿泊	471 万人	410 万人	61 万人	14.9%
日帰り	2,663 万人	2,071 万人	592 万人	28.6%
合計	3,134 万人	2,481 万人	653 万人	26.3%

出典：「横浜市観光動態・消費動向調査」

【横浜市の観光消費額（平成 25 年）】

区分	観光消費額		増減	増減率
	25年	24年		
宿泊	1,158 億円	1,100 億円	58 億円	5.3%
日帰り	1,176 億円	824 億円	352 億円	42.7%
合計	2,334 億円	1,924 億円	410 億円	21.3%

出典：「横浜市観光動態・消費動向調査」

③ 広域的な都市構造の変化と広域的な機能



出典：横浜市政策局

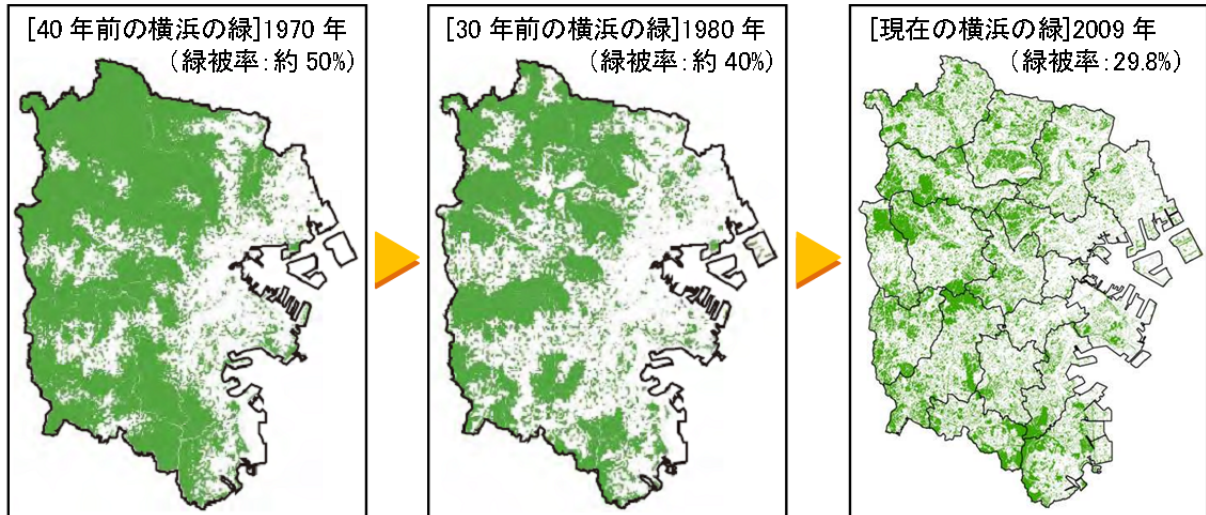
- ◆ 神奈川東部方面線  
2019 年開業
- ◆ 中央新幹線（リニア）  
2027 年開業
- ◆ 横浜環状道路  
北線：2016 年度開通 \*  
南線：2020 年度開通 \*  
北西線：事業期間（2021 年度まで）  
の短縮を検討

\* 土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合(国による道路事業の見通し)

#### ④ 自然的環境の整備又は保全

##### 【緑被率の推移】

※緑被率は、調査年度によって調査手法や精度が異なるため、おおむねの傾向を示したもの



出典：横浜市環境創造局

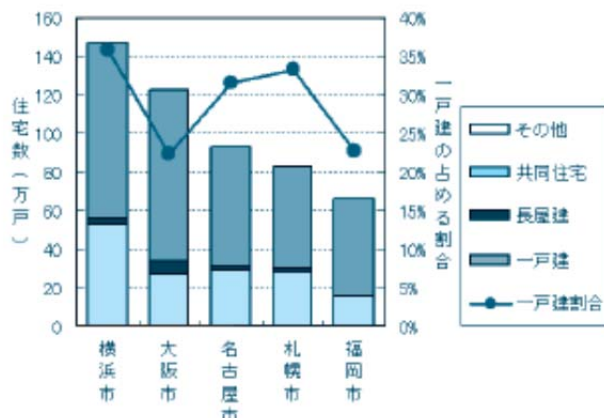
##### 【横浜市における年平均気温の経年変化】



出典：横浜市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編) (平成22年)

#### ⑤ 多様な居住ニーズ

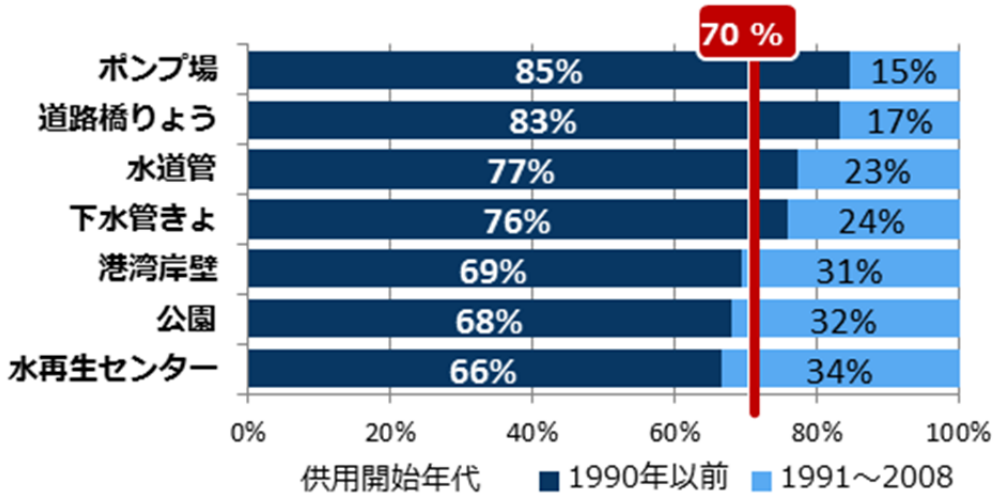
##### 【建て方別住宅数の大都市比較 (平成20年)】



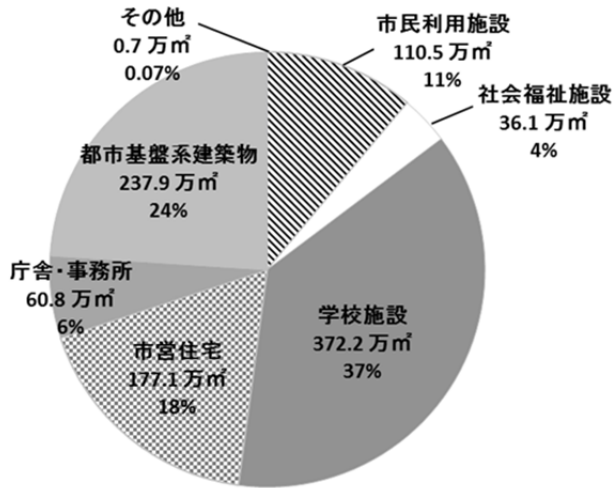
出典：総務省「平成20年住宅・土地統計調査」

⑥ 施設の老朽化

【公共施設の供用開始年代別割合】



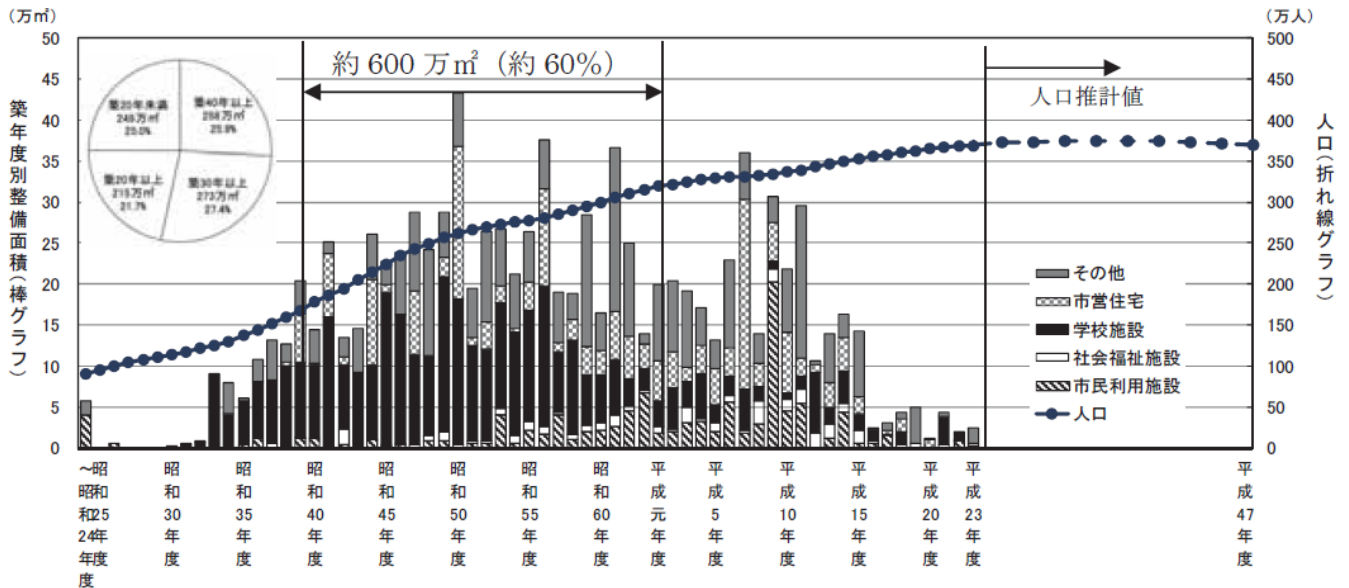
【横浜市の公共建築物】



2,552 施設  
延床面積  
995.3 万㎡  
※平成 23 年度末時点

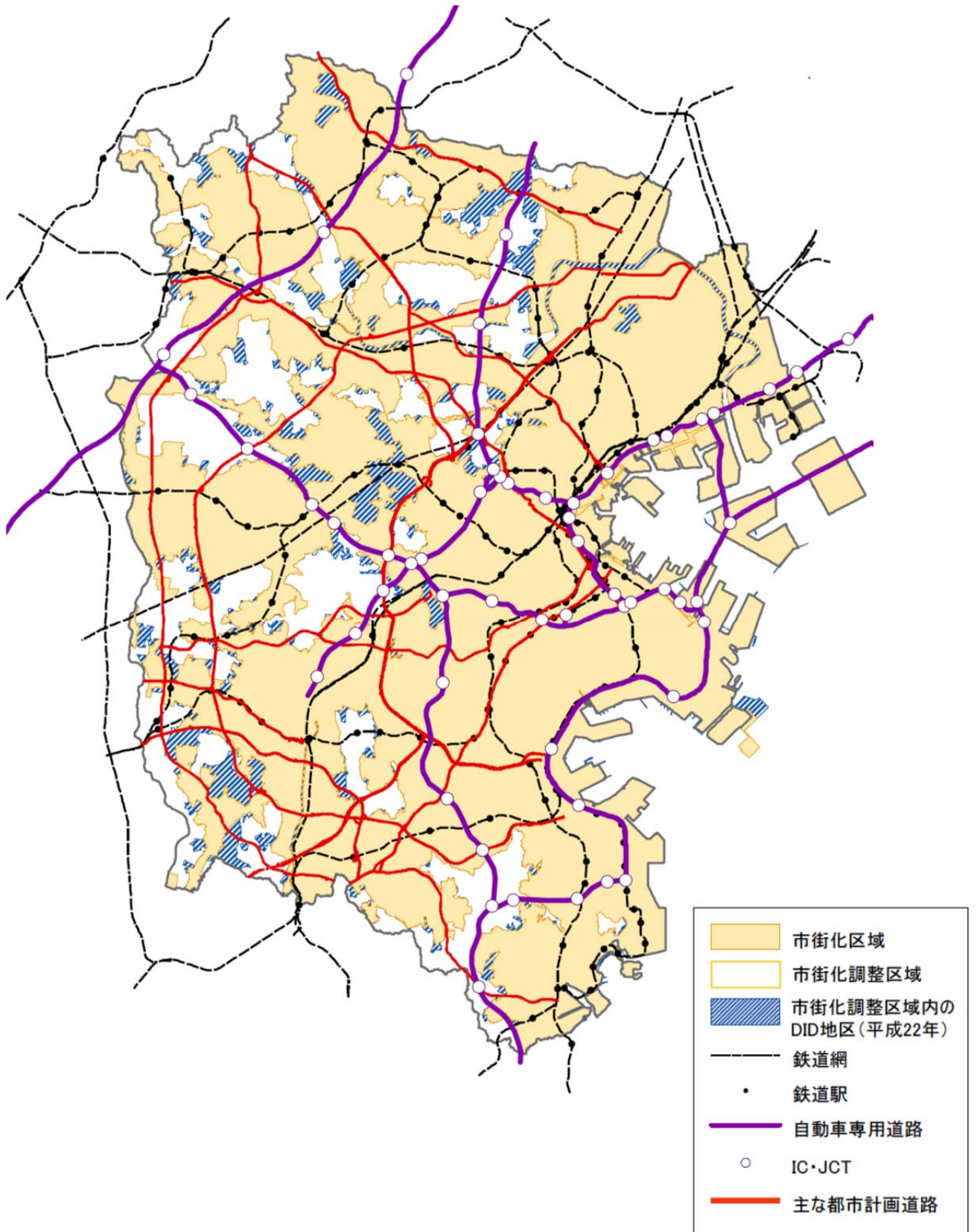
出典：横浜市公共建築物マネジメント白書

【公共建築物の地区年度別整備状況】



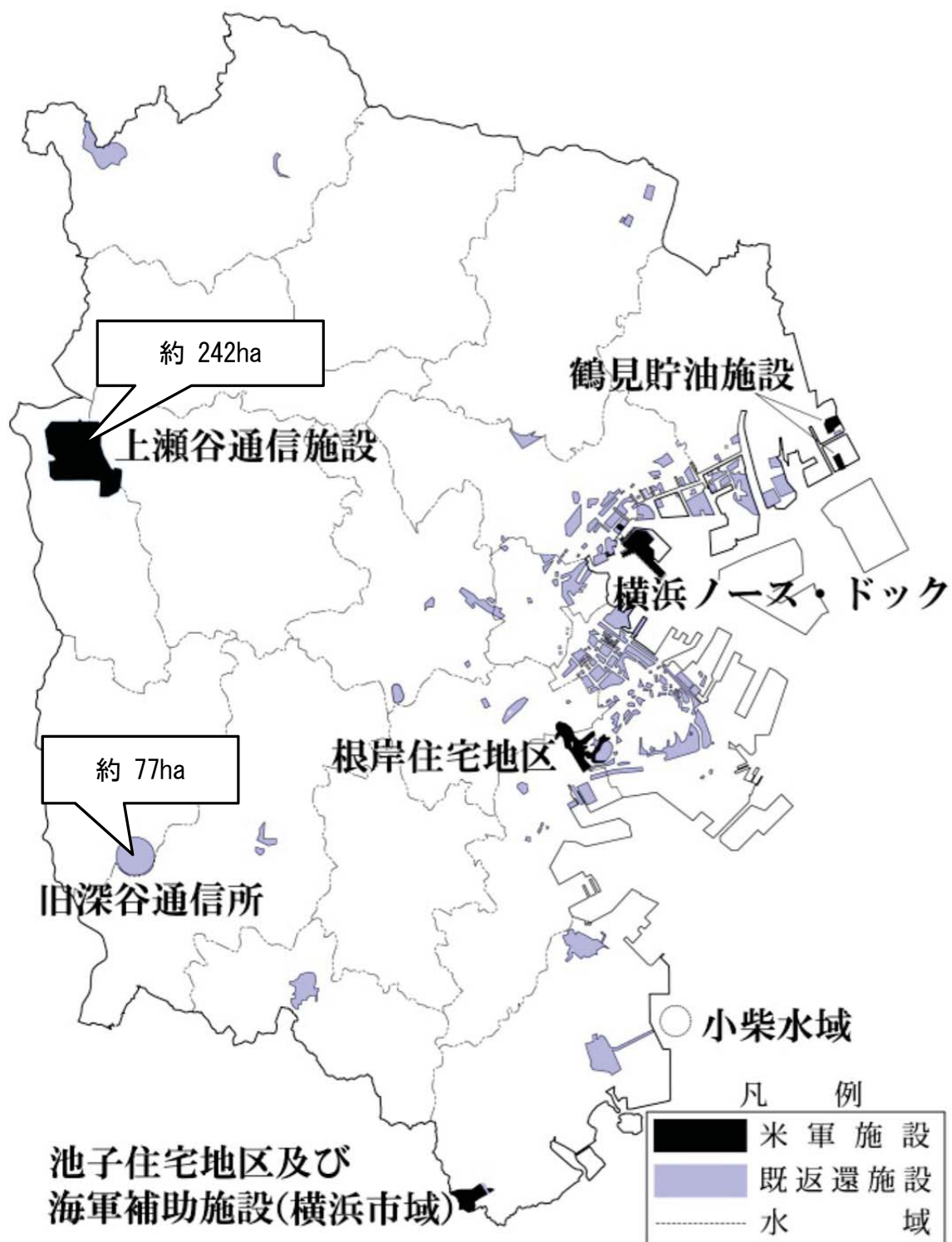


⑦ 鉄道駅、高速道路インターチェンジ、米軍施設跡地等周辺の土地利用  
 【市街化調整区域とインフラの状況図】





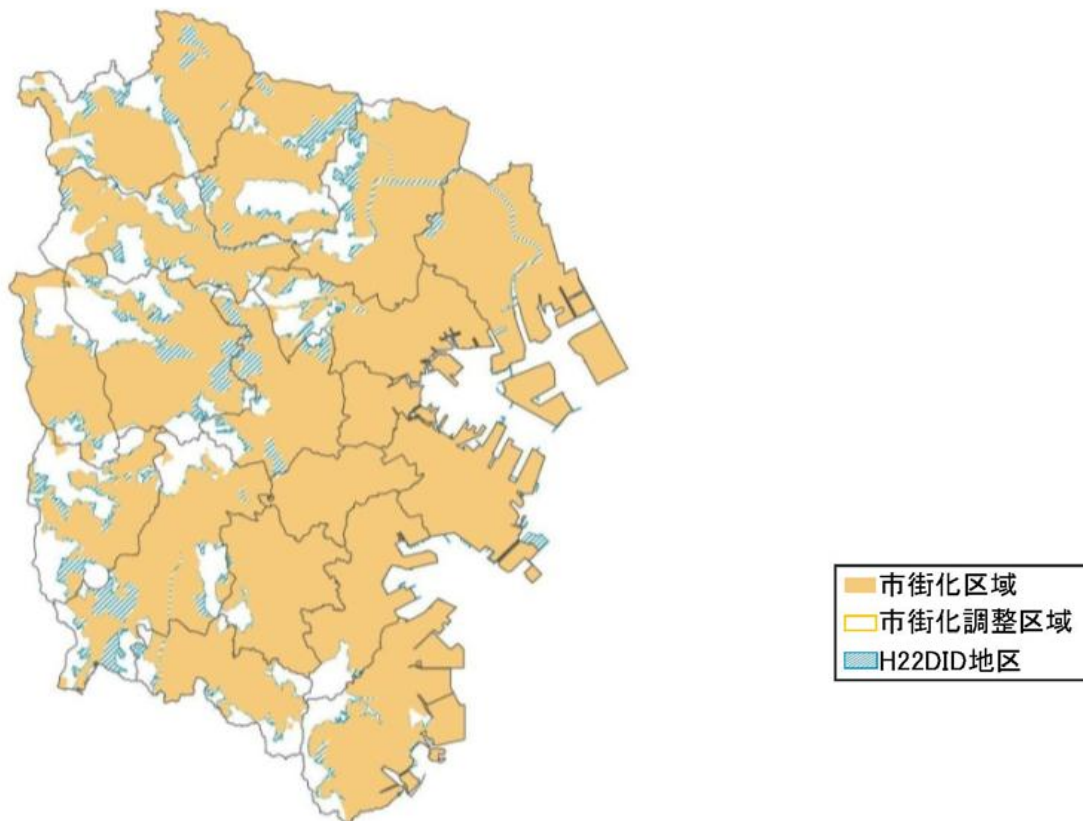
【横浜市内米軍施設・区域位置図】（平成 26 年 10 月時点）



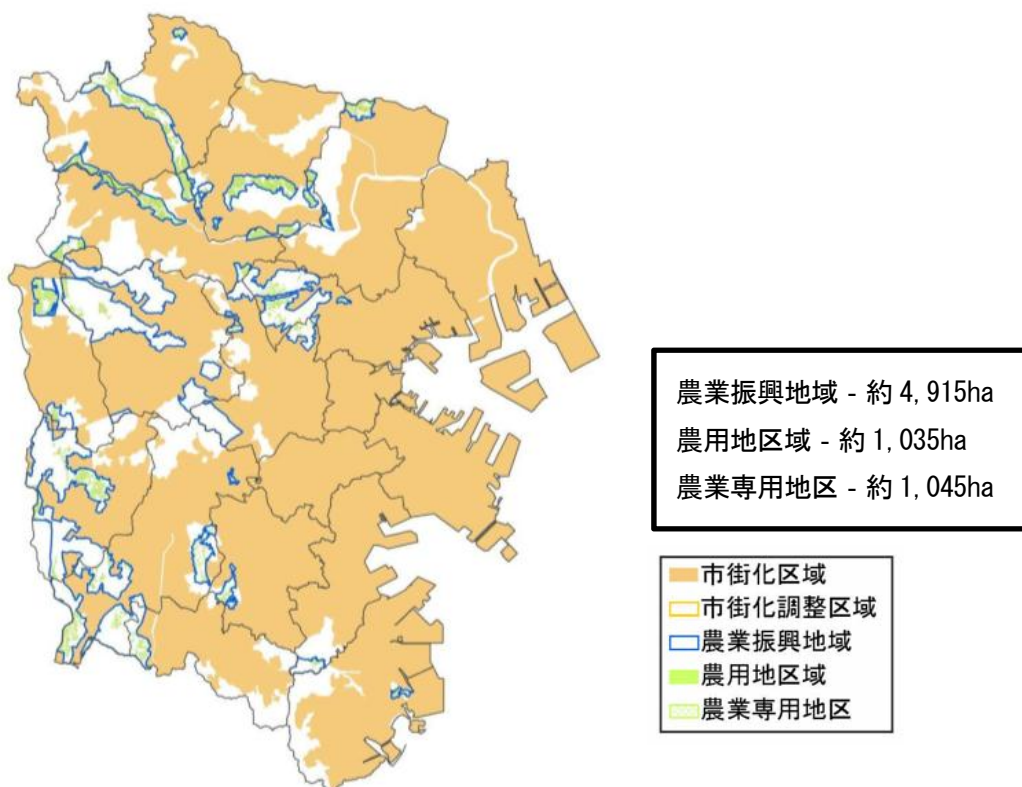
出典：横浜市政策局

⑧ 混在化した土地利用

【市街化調整区域内のD I D】（平成 22 年時点）



【市街化調整区域と農業施策現況図】（平成 23 年 3 月時点）

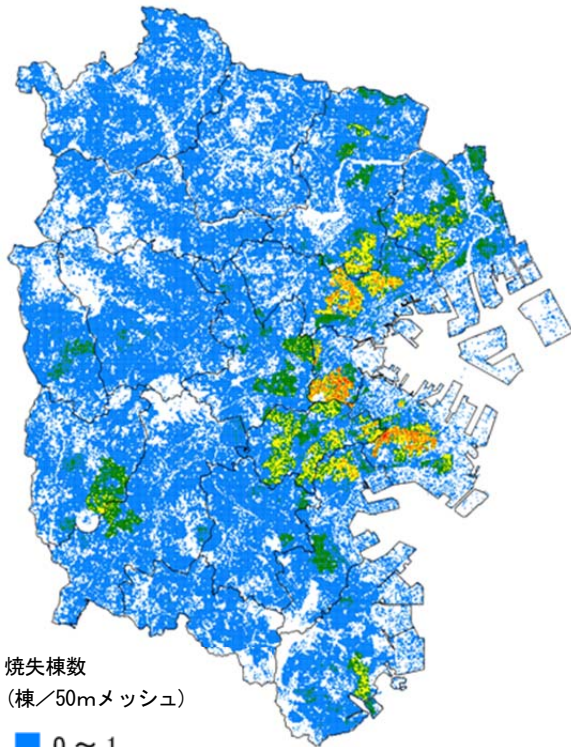


出典：横浜市建築局（第 1 回小委員会資料）

⑨ 防災の向上

【元禄型関東地震における焼失棟数】

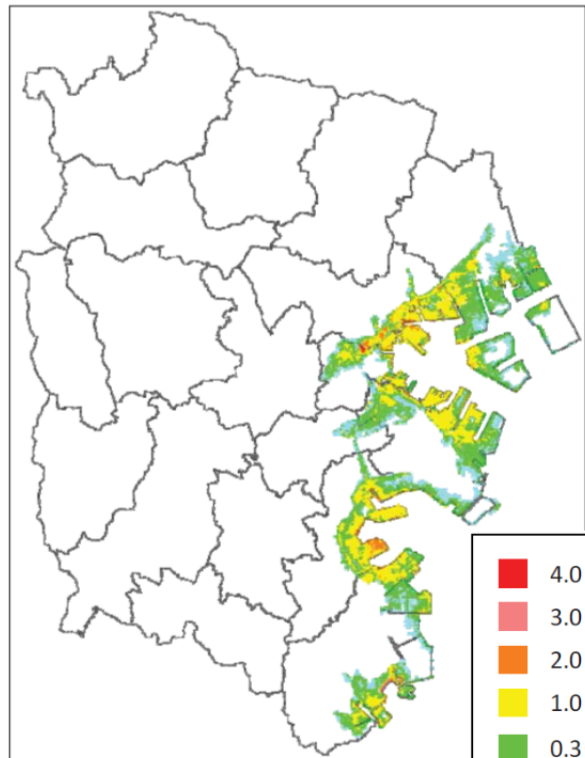
(棟/50mメッシュ)



焼失棟数  
(棟/50mメッシュ)

- 0 ~ 1
- 1 ~ 5
- 5 ~ 10
- 10 ~ 20
- >= 20

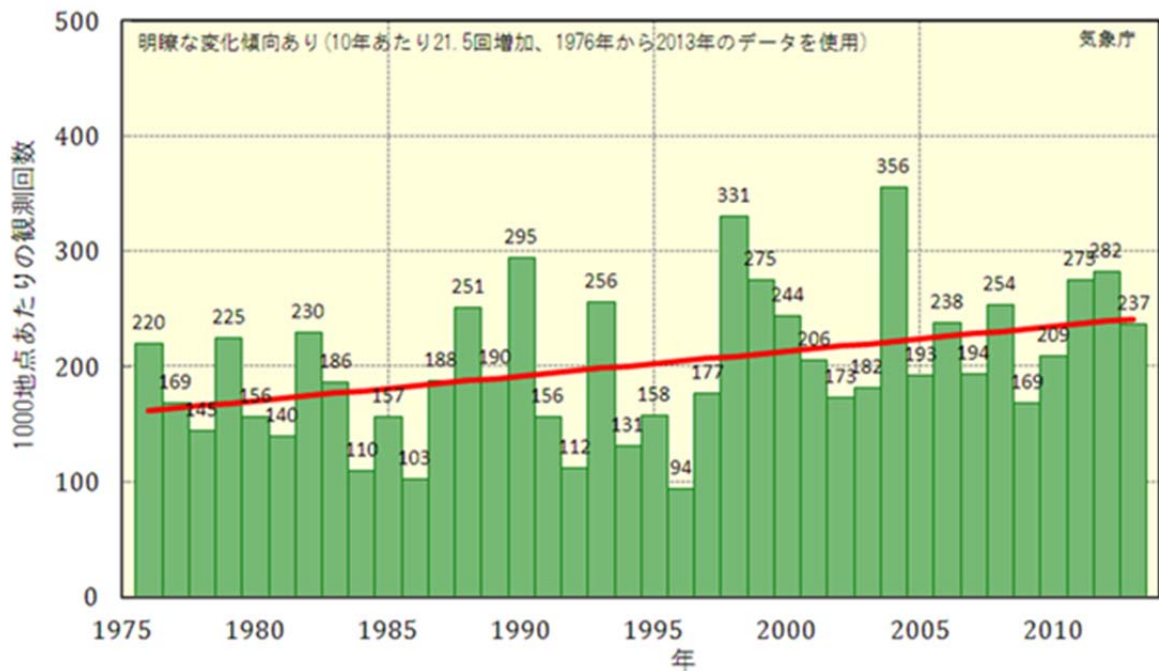
【慶長型地震の津波による浸水分布】



- 4.0 < H
- 3.0 < H ≤ 4.0
- 2.0 < H ≤ 3.0
- 1.0 < H ≤ 2.0
- 0.3 < H ≤ 1.0
- 0.0 < H ≤ 0.3

出典：横浜市地震被害想定調査報告書（平成 24 年 10 月）

【短時間強雨発生回数の長期変化（1時間降水量 50 mm以上）】



出典：気象庁